

平成30年度 指定管理者評価シート

施設の名 称	小林駅南口自転車駐 車場
施設所 管 課	市民部 市民活動推進課
指定管理者の名称	一般社団法人 日本駐 車場工学研究会
指 定 期 間	平成27年4月1日 ～ 令和2年3月31日（4年目）

1. 施設の設置目的と概要

設置目的	自転車の交通に係る事故の防止と交通の円滑化並びに駅前広場等の良好な環境の確保及びその機能の低下の防止を図り、併せて自転車の利用者の利便の増進に資するため。
概要	・駐 車場施設及び設備の維持管理、使用の承認に関すること ・駐 車場利用料金の徴収 等

2. 施設の計画値と実績値等

年度	利用方法	計画① (使用料)		計画② (利用台数)		指定管理料	利用者アンケートによる満足率	備考
		計画値	実績値	計画値	実績値			
27	定期	1,487,000円	1,530,140円	324台	327台	0円	97.0%	
	一時	404,000円	318,900円	3,693台	2,997台			
28	定期	1,530,000円	1,401,700円	327台	288台	0円	94.0%	
	一時	310,000円	328,600円	2,997台	3,094台			
29	定期	1,400,000円	1,196,950円	288台	256台	0円	100.0%	
	一時	320,000円	302,300円	3,094台	2,824台			
30	定期	1,190,000円	1,145,780円	256台	249台	0円	100.0%	
	一時	300,000円	263,900円	2,824台	2,437台			

※計画値は協定書・仕様書・事業計画書等での数値。

※利用者アンケートによる満足率は、アンケート項目に「施設の総合的な満足度について」を設定し、その項目の結果において、普通以上の評価とした者の率。

3. 各項目の評価

※評価（3点…基準よりも高い水準 2点…基準と同程度 1点…基準よりも劣る。）

評価項目	評価基準	評価
1 業務履行状況の確認		
①事業、業務の履行状況	協定等で定める開館日が遵守されているか	2
	施設の利用状況（利用者、稼働率）は適切な水準か	2
	事業計画で定められた事業が実施されているか	2
	利用者拡大のための施策等が行われているか	2
	利用料金等の徴収等の手続きは適切に行われているか	2
	協定等で定める職員配置となっているか	2
	緊急時の体制は整備されているか	2
	協定等で定めた保険に加入しているか	2
	苦情等への対応は適切に行われているか	3
	個人情報 は適切に管理されているか	2
②施設の維持管理状況	協定等で定める保守管理業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める清掃業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める保安警備業務が適切に行われているか	2

	協定等で定める修繕業務が適切に行われているか	2
③労務管理状況	労働環境チェックシートの各項目は遵守されているか	2
2 サービスの質に関する評価		
①実地調査に基づく評価	職員の接客態度について	3
	施設案内やホームページの見やすさについて	2
	設備、備品等が適切に管理されているか	2
	施設は清潔に保たれているか	2
	協定等で定めるアンケート調査等が行われているか	2
②アンケート等に基づく評価	職員の接客態度について	3
	施設案内やホームページの見やすさについて	
	予約のしやすさについて	
	実施事業の満足度について	
	施設は清潔に保たれているか	3
	アンケート結果を踏まえ、改善が図られているか	2
3 サービス提供の継続性、安定性に関する評価		
①施設運営、事業収支の状況の確認	事業収支について応募段階の収支計画との乖離がないか	2
	事業に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	2
②指定管理者の経営状況	監査報告書に異常な指摘事項はないか	2
	財務に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	2
	適正な利益率を確保できているか	2
評価値		2.14

※評価値については、各項目の平均値。(最大31項目)

4. 所管課による総合評価

※総合評価 (A:極めて優秀、B:優秀、C:可、D:不可)

総合評価	総合評価理由等	
B	評価値	2.14
	総括	利用者アンケートの評価も良好であり、自転車駐車場の管理運営が適切に行われている。
	優れている点	指定管理者による自主事業として施設照明のLED化により電気代のコスト削減を行っている。 職員の定期的な適正チェック、接遇研修を行い、職員のマナーアップ、サービスの向上に努めている。 自転車駐車場の整理整頓、清掃、美化状況、管理人の接客態度については利用者アンケートで良い評価を受けている。
	課題と改善案	駐車場内での利用者のマナー向上、特に駐車場内の走行禁止については引き続き注意喚起していく必要がある。 平成30年度中の自転車、バイク等の盗難被害は0件でしたが、引き続き盗難防止のための啓発や鍵かけ励行を呼びかけていく必要がある。 また、場内の放置自転車については2件発生しており、所有者に引き取りを通知するとともに、自転車の放置をしないよう利用者に注意啓発していく必要がある。

※「3. 各項目の評価」で「1点」があった項目は、その理由等を必ず記載すること。